

海外派遣留学生
留学報告書

学部学科:	政治経済学部 政治学科		学年(※留学時):	3年
留学先:	国:	カナダ	大学/機関:	ブリティッシュ・コロンビア大学
期間:	2024年1月6日～2024年3月25日			
	中期		計 3ヶ月	

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名(受講科目・複数可)

・授業時間数:

・科目名:

1月2月 EAP、3月 ASPIRE

時間	月	火	水	木	金	土	日
8時30分～12時	○	○	○	○	Free	Free	Free
13時～14時45分	○	○	○	○	Free	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

EAP: 月曜日～木曜日/8時30分～12時(Reading), 13時～14時45分(listening)/

日本人、韓国人、アフガニスタン、ペルシア、コロンビア、トルコ、フランス

ASPIRE: 月曜日～金曜日/9時～12時30分, 13時30分～15時45分/全員日本人

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

- ◆ 週末は、大学のアイスホッケーやバレーボールなどのスポーツ観戦に沢山行きました。ELIに通っていると正規のUBC生と同じ学生証を配布され、無料でスポーツ観戦をすることができたので、フル活用していました。
- ◆ バンクーバーを探索することはもちろん、2時間ほどフェリーに乗ってバンクーバー州南端部に位置する「ビクトリア」という島に行って、英国風の街並みを観光しに行きました。また、連休を利用し、クラスメイトとトロントにも旅行に行きました。

海外派遣留学生
留学報告書

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

- ◆ Nest : 学習ができるスペース、食事、買い物、交流などができる UBC の建物。
- ◆ UBC Book Store : UBC ロゴ入りのパーカーや文房具やタンブラーなどのグッズが沢山販売されており、よく放課後に立ち寄っていました。

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1部屋 1人で使用

様子: とても素敵なホストファミリーとルームメイトに出会うことができました。半地下にルームメイト1人と私の部屋が用意されており、各部屋に机、ベッド、クローゼット、スリッパ、Wi-Fi が完備されていました。とても可愛らしいお部屋で、お花も飾られていて、数週間に一度ホストマザーが新しい花に替えてくれました。キッチン、洗濯機、洗面所、トイレ、シャワー、リビング等はルームメイトと共有で、シャワーは夜10時まで10分以内というルールがありました。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

◆ 楽しかったこと:

- ・本場のアイスホッケーを観戦できたこと
- ・ホストファミリーと食事をしたり、親戚のパーティーに参加させてもらえたり、ビーチに連れて行ってくれたりしたこと
- ・トロントに行き、バンクーバーとは違った都会な街並みを楽しみ、ナイアガラの滝を見られたこと
- ・新たな友人が沢山作れたこと

◆ 苦労したこと:

- ・周りの参加者よりも英語が話せない状態で上級の EAP クラスに参加したため、授業についていくことにとても苦労したこと
- ・毎日出される課題がとても多かったこと
- ・言いたいことが英語で伝わらなく、意思疎通ができなかったこと
- ・3月は日本の大学生の春休み期間であり、1カ月間だけ留学に来た日本人で構成される ASPIRE というクラスに入ったが、全員が日本人だったため、日本語を使わずに英語を使用するのは難しかった

海外派遣留学生
留学報告書

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上:

リスニング力が最も向上したと実感しています。また、スピーキング力も日常会話が不自由なくできる程度には向上しました。初めは、ホストファミリーとキャッチボールのような会話ができておらず一問一答でしたが、帰国時には意見交換ができたり、自分の伝えたいことを伝えたりできるまで成長することができました。ただ、読解やライティングに関しては、もともと苦手ということもあり、リスニング力やスピーキング力ほどは向上しませんでした。何より、単語力が非常に重要だと実感しました。帰国後、IELTS のスコアが 5.0 から 6.0 に上がり、英語力が以前より向上したことを実感しました。

2) 専門知識の向上:

LGBTQ+ に対する専門知識が豊富になりました。カナダは、LGBTQ+ の人権を守る先進国であり、世界で最も早く法改正が行われ、同性婚も認められました。そのため、授業では女性の人権、同性婚、マイノリティなどを扱いながら英語を学ぶ機会が多く、LGBTQ+ に関する知識が増えました。

3) 自己成長など

主体性が高まりました。休日には、1人でバンクーバーを探索することもありました。その際、バスで現地の人と会話をしたり、1人で自然を見に行ったり、ショッピングを楽しんだりすることで、精神面も鍛えられ、英語力も向上しました。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

留学は一生の財産になります。学業だけでなく、文化や人々との交流を通じて自分自身も成長できると思います。初めは理想の留学生活とは違っていても、目標に向かって努力を続ければ、必ず素晴らしい結果が得られるはずです。応援しています！

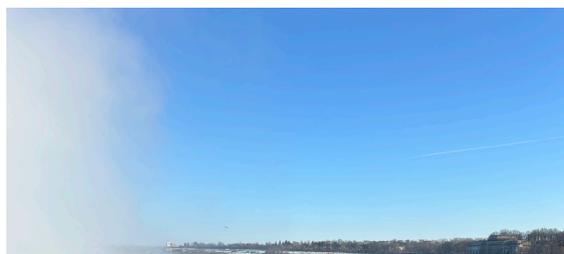
[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目 ※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	943,000
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	30,000
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	150,000
現地からの奨学金がある場合	
お土産代や個人的な買い物	150,000
その他(東海大学からの奨学金)	100,000

海外派遣留学生
留学報告書

留学に関する費用の総額

1,273,000



海外派遣留学生
留学報告書

